

# 北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校  
令和5年2月28日発行  
文責：校長 上田 敏浩

## こんな生徒になってほしい

～新入生説明会にて～

2月6日（月）、新入生説明会を開催しました。当日は、小学校6年生とその保護者の皆様に来ていただき、中学校の学校生活や校則などについて説明しました。あらかじめ心構えをもって入学してほしいという思いから、こういう生徒になってということをお伝えしました。（新入生に対しての内容ではありますが、在校生にも同じことを伝えたいので、載せています。）

一つ目は、自ら学び、自らを変えていく生徒です。授業は真剣に受けましょう。まだまだ先の話だと思いかもかもしれませんが、中学校卒業の先には、高校等に進学したり仕事に就いたりという、人生の大きな分かれ道が待っています。その分かれ道に向かって進むときに、学校や家庭で学習したことは、とても大切になります。現在、中学生は毎日毎時間、自ら学ぼうという姿勢で、将来に向かって真剣に授業を受けています。そして自分を振り返り、自分で伸ばそうとしています。皆さんにも、是非そうあってほしいと願っています。

二つ目は、互いを認め、大切にできる生徒です。そのためには、人のいやがること・傷つけることをしない、言わないことです。学校内や学校外でも、あらゆるところで、これを守ってほしい。お互いが幸せな生活を過ごすために、必ず守りましょう。

三つ目は、節度ある言動ができ、自ら動く生徒です。中学生はルールを守り挨拶をよく行っています。ルールを守る気持ちが、学校生活だけでなく、いろいろなところで皆さんを守ることにつながります。挨拶については、生徒会でもワンストップ挨拶を呼びかけています。お互いが気持ちよく生活できる第一歩としての挨拶も、心がけましょう。また、朝のボランティア掃除を積極的に行ったり、気づいたことについて積極的に動く生徒も多いです。

皆さん自身でも楽しく学校生活を過ごせるように、お互いがお互いを大切にして、これから三年間、そしてその後の生活がよりよいものになるようにしていきましょう。

## 審査員長特別賞・長崎県知事賞に輝く！

～第21回南島原市セミナーヨ現代版画展にて～

第21回南島原市セミナーヨ現代版画展が開催されましたが、第2部門（中学生の部）に、審査員長特別賞（中林忠良賞）に、3年の岩永安奈さんの「自然で平和な生活」、長崎県知事賞に、同じく3年の岩永杏南さんの「穏やかな日常」が選ばれました。

会場には、二人の作品のほかにも本校生徒の作品や、他校生徒の作品、また一般の方の作品等も展示されていました。



岩永安奈さんの「自然で平和な生活」



岩永杏南さんの「穏やかな日常」

## 校内研修を進めています

令和4年度・5年度南島原市教育委員会の指定を受けて、「仲間と共に、学びを高め合う生徒の育成」をテーマとして、授業を改善する校内研修を進めています。「主体的・対話的で深い学び」の視点から、授業を改善し、学習の効果を上げることを目指しています。「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」も重視して授業を進めています。取り組みの発表は、来年度行うように計画しています。

また、家庭学習の見直しも、進めています。自学ノートの取り組みも改善を図っていますので、ご家庭でもご覧いただければと思います。



## 学習者用端末使用のきまりについて

学習内容をよく理解し、より豊かな学びを実現するために、1人に1台ずつ学習者用端末を貸し出ししています。あらためて、端末利用についての決まりをお知らせしますので、決まりごとを守って「安心・安全・快適」に活用していきましょう。以下はその一例です。

- 学校と家庭以外のWi-Fiに接続しない
- アカウントやパスワードは、他人には教えない
- 学校から配布されたアカウントのみを使用する
- 相手を傷つけたり、いやな思いをさせたりすることをしない
- 自校他校含め、指示された時以外、他人との情報のやりとりをしない
- カメラでは学習に必要なものだけを撮影する

など

SNSの使用については、マナーやモラルを守って使い、人を傷つけたり、嫌な思いをさせたり、社会的問題になるような書き込みや行為は、絶対しない、させないことが肝要です。

### ひとつことふたこと

詩人、須永博士の言葉です。「ほったらかしで／子供はそだちません／そのとき／そのとき／生きることを／きちんと教えてゆかないと／わがままな／子供になってしまいます／けじめのない／子供になってしまいます／見て見ぬふりは／すべてを悪くします／きちんと／ひとつひとつ／けじめをつけて／生きることが／大切です」（詩集『我慢にも限度がある』より）